

どんな話を
しているの？

学校運営協議会だより2

第二号では、9月に開催された、第二回会議の内容とPTA運営委員会での説明内容をお伝えします。

令和6年11月吉日 五常小学校運営協議会

はじめに

地域とともに子どもを育む学校へ

枚方市では「地域全体で子どもを育てていこう!」という思いを込めて、教育委員会が各学校に学校運営協議会を設置しており、令和元年から3年の間に市立小学校全44校に設置されました。

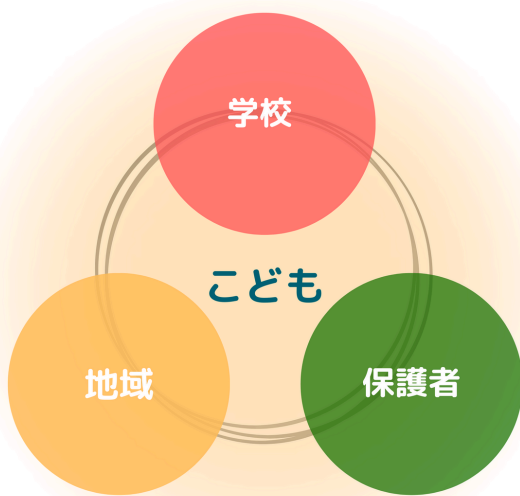
学校運営協議会では、保護者や地域住民が校長先生や教頭先生と、教育活動や学校への必要な支援、子ども達の現状について話し合っ“地域とともにある学校づくり”を推進しており、学校運営協議会を設置している学校がコミュニティ・スクールとよばれています。

このお手紙では会議の内容から、保護者のみなさんが気になるようなことを厳選してご紹介します。

第二回学校運営協議会ではどんなことを話したの？

第二回学校運営協議会では、第一回学校運営協議会会議で承認され議題にあがった“小学校での性教育の充実”について主に話をしました。

保護者と地域をまきこんだ性教育の推進



前回の議論を受け、子どもたちを取り巻く教職員、保護者、地域住民が、子どもたちに必要な性教育について学び、共通認識を持つことを目的に、12月25日に包括的性教育の講演を開催することが決まりました。

また、講演開催に先立ち、小学校で推進する性教育に関して、保護者に必要な情報を提供し、保護者の意向を調査・議論するため、PTA運営委員会内に臨時的「保健委員会」を設置する案を、9月21日のPTA運営委員会で諮りました。

PTAの運営委員会の結果

タイアップは次の機会へ

9月21日のPTA運営委員会にて、学校運営協議会委員が内容を説明し、決議を行いました。残念ながら否決という結果になりました。

PTA委員会としての設立は実現しませんでした。今後も保護者・地域・学校が連携して取り組めるよう、五常小学校の保護者の皆さまにご協力いただける仕組みを引き続き模索してまいります。

次のページ以降で、PTA運営委員会で話し合われた内容についてお伝えします。

※一部、画像等内容に加筆した箇所がありますのでご了承ください。

📌 どうして性教育が必要なの？

子どもたちの身近にある性的リスク

現代では、タブレットやスマートフォンの普及により、子どもたちは幼い頃から性に関する情報に意図せずとも簡単にアクセスできる環境にあります。また、SNSやオンラインゲームを通じて知らない人とも簡単につながる時代となりました。

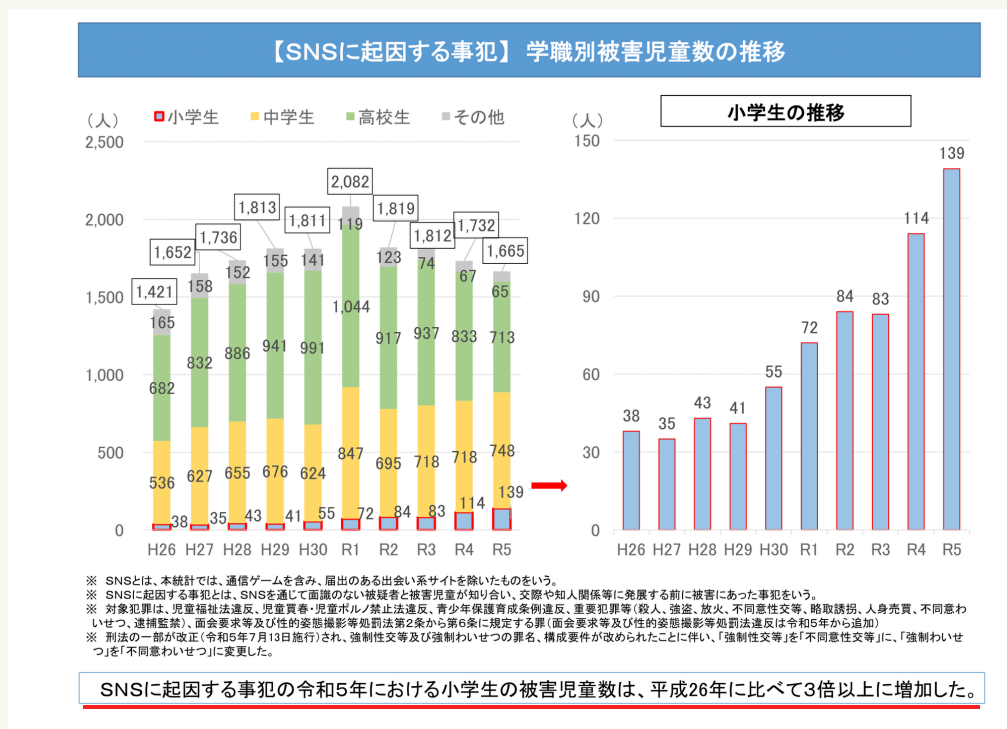
その結果、性について誤った考えや価値観を持つリスクが高まり、小学生がSNSをきっかけにトラブルに巻き込まれる事例も増えています。

警察庁の統計によるとSNSに起因する事犯の令和5年における小学生の被害児童数は、平成26年に比べて3倍以上増加しています。

ニュースでは、小学生や幼児が学校内外で盗撮や性被害に遭ったり、時には加害者となるケースも報じられています。こうした話は、大人にとってどこか遠い世界の出来事のように感じられることもあるかもしれませんが。しかし、枚方市や寝屋川市の中学校を中心に性教育講演を行っている専門家のお話では、これらの問題は実は私たちの身近でも起こっているものと指摘されています。



P T A 運営委員会ではどんな話をしたの？性教育ってなに？



[出典] 警察庁 [なくそう、子供の性被害。] 関係統計/統計データ https://www.npa.go.jp/policy_area/no_cp/statistics/

📌 学校の授業で教えてくれるんじゃないの？

小学校での性教育、実は限界がある…

幼少期からの性教育は、子どもたちが性被害の被害者や加害者にならないようにするだけでなく、自分や他者のからだを尊重し、前向きに向き合う力を育むために非常に重要です。

幸い、五常小学校では養護教諭の先生が年に1~2回、子どもたちの発達段階に合わせた丁寧な性教育を行ってくださっています。

しかし、日本の性教育は授業時間が少なくや内容に制限があるため、「どうしたら赤ちゃんができるの?」「精子と卵子はどうやって会うの?」といった子どもたちの大事な疑問に十分答えられないのが現状です。

そのため、学校での学びを補い、子どもたちが正しい性の知識を身につけるためには、家庭での性教育が欠かせません。

👉 家庭での性教育どうすればいいの？

親も悩む性教育。どう向き合い、どう伝える？

では、親から子へなにをどのように伝えたら良いのでしょうか。

「そもそも子どもの質問にどう答えたらいいのかわからない」「子どものこんな行動に悩んでいます」「性の質問ははぐらかしてしまっていた」という声、「学校でしっかり性教育をしてほしい」という保護者の声が2年前にPTA主催の性教育講習会を開催した際に多く寄せられました。

日本の性教育は、世界のスタンダードに比べて非常に遅れているのが現状です。そのため、私たち大人自身も十分な性教育を受けた経験がないことが多く、性教育の重要性を認識していても、親子間で性について教え、話し合うことに難しさを感じている保護者が多いと感じます。

だからこそ、大人自身が性教育の現状を学び直し、子どもへの伝え方や話し方、さらにトラブルに遭った際の対処法についての知識をアップデートすることが大切です。



令和4年PTA文化委員会主催 いのちのおはなし会の様子

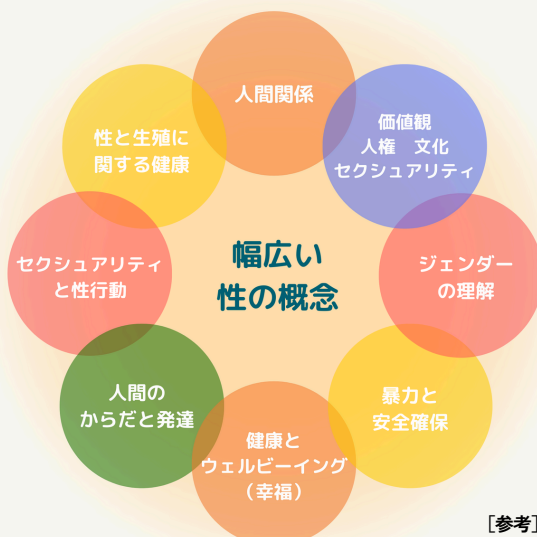
👉 だからみんなで取り組みたい

子どもも大人もアップデート！

そこで、五常小学校の学校運営協議会では、子どもたちが正しい性の知識を学ぶと同時に、保護者、教職員、地域の大人たちが一緒に性教育についての知識をアップデートし、理解を深める場を学内外で作りたいと考えています。

私たち大人が、今の新しい性教育を学び、子どもへの伝え方やトラブルが起きた際の対処法を知ることによって、子どもたちが安心して学べる環境を整え、これからの時代を生き抜く力を育むことができると思います。

そして、小学校に通うすべての子どもが、人権を基盤とした性教育を受けることで、自分を守り、他者を尊重する力を育むことができ、その結果、将来のより良い社会づくりにもつながると信じています。



包括的性教育とは、性に関する知識やスキルだけでなく、人間関係、性の多様性、ジェンダー平等、暴力防止と安全確保、性的行動、健康など、幅広いテーマを含む「人権」を基盤とした性教育のことです。

この教育の指針としては、ユネスコの『国際セクシュアリティ教育ガイダンス』があり、これが世界的な性教育のスタンダードとなっています。



PTA運営委員会ではどんな話をしたの？性教育ってなに？



各団体の協力

12月の研修でつながる！学校・保護者・地域の輪

学校としては今年の12月に行われる教職員の研修に保護者や地域の方々も参加可能として頂けることとなりました。
地域としては五常コミュニティ協議会や地域福祉委員会が賛同し、今後地域全体での性教育を支援してまいります。



おわりに

次のステップへ

以上の内容をPTA運営委員会にて説明し、各団体と連携する機関として保健委員会の設立を提案し、決議をお願いしました。

否決とはなりましたが、この提案を通じて、PTAの皆さまと性教育に関する課題や現状について話し合う機会を得られたことに心より感謝しております。

私たち学校運営協議会は、保護者や地域の皆さまと共に、大人も学びながら、子どもたちが性について正しい知識を身につけ、自分を守りながら他者を尊重する力を育む環境づくりを目指しています。

家庭、学校、地域が力を合わせることで、子どもたちにより豊かな学びを届けられると考えています。

保護者の皆さまにおいても、「性教育」というテーマについて改めて考えるきっかけとしていただければ幸いです。

11月現在、新たな一步を踏み出す準備を進めています。

詳しくは「学校運営協議会だより3」でお知らせしますので、楽しみに！



委員からのメッセージ

ご意見おきかせください！

今後も私たち運営協議会委員からも皆さんの意見・質問を学校へ伝えていきます。委員を見かけたら、学校にメールするほどではないなと思うちょっとしたことでも話してみてくださいね。

[参考]

- ・日本財団「包括的性教育の推進に関する提言書」(2022年8月12日)
<https://www.nippon-foundation.or.jp/who/news/pr/2022/20220812-76281.html>
- ・日本弁護士連合会「包括的性教育」の実施とセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス&ライツを保障する包括的な法律の制定及び制度の創設を求める意見書(2023年1月20日)
https://www.nichibenren.or.jp/library/pdf/document/opinion/2023/230120_2.pdf
- ・公益社団法人 日本産婦人科医会 研修ノート/No106思春期のケア/学校保健
<https://www.jaog.or.jp/notes/note13259/>
- ・男女共同参画局「性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センターを対象とした支援状況等調査」報告書
https://www.gender.go.jp/policy/no_violence/e-vaw/chousa/r060325_houkoku.html